

第12回ちゅら眼科懇話会のご案内

謹啓、時下先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は弊社製品に関しましては格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、第12回を迎えます「ちゅら眼科懇話会」は例年、琉球大学のご同門の先生方にご参加頂き開催しておりましたが、今回はコロナ感染防止の為WEBにて開催させて頂くことになりました。
つきましてはWEB開催にあたり沖縄県内の多くの先生方にご参加賜りたく、ご多忙中とは存じますが何卒、お申込み頂けます様お願い申し上げます。 謹白

日 時： 2020年12月05日（土） 18：00～19：10

開催方法： WEB講演会（Teams対応）

視聴の手順（Teamsへの参加方法）につきましては、ご登録頂いたメールアドレスに後日ご案内いたします。

申込期限： 2020年11月30日（月）

申込方法： 同封の「WEB講演会事前参加返信用」に ①施設名 ②お名前 ③メールアドレスをご記入の上FAXをお送り頂くか、下記メールアドレスまで上記3点をご入力の上送信いただきますようお願い申し上げます。

申込メールアドレス：eijirou.sakamoto@hoya.com（HOYA株式会社 坂元栄二郎）

参加費用： 不要

製品紹介 18：00-18：10

HOYA株式会社 メディカル事業部

『HOYA Vivinex Toric について』

特別講演 18：10-19：10

座長 古泉 英貴 先生（琉球大学大学院医学研究科 眼科学講座 教授）

演者 大石 明生 先生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 眼科・視覚科学分野 講師）

演題 『羞明について考える』

医学系の成書は多くの場合、疾患単位で症状や検査所見、治療法を解説する体裁になっている。一方実際の診療では症状から必要な検査を計画し、診断するという逆のプロセスが必要になる。例えば今回とりあげる羞明という症状は普段あまり注目されないものであるが、原因となる疾患は前眼部から網膜、頭蓋内と様々なものがあって、その機序も一様ではなく、時に原因の特定に苦慮することもある。本講演では実際の症例をベースに鑑別疾患や対応を考える。実際羞明という症状は当事者には想像以上に不快なもので、視覚障害が強い網膜色素変性などの患者さんでも、“見えないのは慣れてるが最近では眩しいことが気になる”と訴えられることはしばしば経験する。網膜変性疾患で生じる羞明については、症状を引き起こしやすい光の波長から、羞明の最初のステップがどの細胞に起因しているのかを検討した、我々の研究結果を紹介する。

略歴

2001年 京都大学医学部 卒業
2001年 京都大学医学部附属病院眼科 研修医
2001年 日本赤十字社和歌山医療センター眼科 研修医・修練医
2008年 神戸市立医療センター中央市民病院眼科 副医長
2011年 京都大学大学院医学研究科 眼科学 助教
2015年 ボン大学眼科 客員研究員
2017年 京都大学医学部附属病院 助教
2020年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 眼科・視覚科学分野講師

主催 HOYA株式会社 メディカル事業部